

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 4 年 9 月 20 日(2022.9.20)

【公開番号】特開 2022-82734(P2022-82734A)
【公開日】令和 4 年 6 月 2 日(2022.6.2)
【年通号数】公開公報(特許)2022-098
【出願番号】特願 2022-63714(P2022-63714)
【国際特許分類】

A 63 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 3 1 2 Z

A 63 F 7/02 3 1 4

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 9 月 9 日(2022.9.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技盤に導入部、第 1 流路部、第 2 流路部及び振分部を有し、前記導入部から導入された前記遊技盤左側の所定領域からの遊技球を、前記振分部によって前記第 1 流路部又は前記第 2 流路部のいずれかに振り分けて流下させ得る流路形成手段を備えた遊技機であって、

前記第 1 流路部に振り分けられた遊技球が入球可能な第 1 入球手段と、

前記第 2 流路部に振り分けられた遊技球が入球可能であり、前記第 1 入球手段とは機能が異なる第 2 入球手段と、

前記第 2 流路部に振り分けられた遊技球が入球可能であり、前記第 1 入球手段及び前記第 2 入球手段とは機能が異なる第 3 入球手段と、

30

前記第 2 流路部を流下する遊技球を検知可能な第 1 の検知手段と、

前記遊技盤の右側領域に設けられ、特定領域を遊技球が流下したことを検知する第 2 の検知手段と、

前記第 1 の検知手段によって遊技球が検知されることを契機として、前記第 2 流路部を流下する所定の遊技球が、前記第 2 入球手段へ入球することは制限されるが、前記第 3 入球手段へ入球することは許容される第 1 状態から、前記第 2 流路部を流下する前記所定の遊技球が、前記第 2 入球手段へ入球することが許容されて前記第 3 入球手段への入球が制限される第 2 状態に可動手段の状態を切り替える状態切替手段と、

前記第 1 の検知手段によって遊技球の流下が検知されることが遊技者に有利な第 1 遊技状態と、前記第 2 の検知手段によって遊技球の流下が検知されることが遊技者に有利な第 2 遊技状態と、を含む複数の遊技状態の間で遊技状態を移行させる遊技状態移行手段と、

40

を備えることを特徴とする遊技機。